

業績目録（平成22年）

教室・部門名 皮膚科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 加藤則人. 「タクロリムスとステロイドの相違点について教えてください」. 薬局で役立つ皮膚科治療薬 FAQ. 大谷道輝, 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 大阪: pp283-284, 2010.
- 2 加藤則人. 結節性紅斑. 小児科臨床ピクシス 19. 年代別皮膚トラブルとケア. 五十嵐隆総編集. 中山書店, 東京: pp134-135, 2010.
- 3 加藤則人. 湿疹・皮膚炎群「炎症性の皮膚の病気」、「接触皮膚炎」、「アトピー性皮膚炎」、「小児のアトピー性皮膚炎」、「成人のアトピー性皮膚炎」、「貨幣状皮膚炎」、「自家感作性皮膚炎」、「脂漏性皮膚炎」、「ビダール苔癬」、「手湿疹」、「単純性顔面皰糠疹」、「乾皮症、皮脂減少性皮膚炎」、「うつ滞性皮膚炎」、「汗疱」、「パッチテスト」、「ステロイド外用薬」、「免疫調整薬」、「スキンケア」、「静脈瘤」. 最新版家庭医学大全科. 高久文麿、猿田亨男、北村惣一郎、福井次矢総合監修. 法研, 東京: pp2225-2239, 2010.
- 4 竹中秀也, 岸本三郎. 第3章 外科処置の基本 オープントリートメント. 皮膚外科学. 影山博之編集. 学研メディカル秀潤社, 東京: 2010.
- 5 益田浩司. 蕁麻疹. ガイドライン外来診療 2010. 泉 孝英編集. 日経メディカル開発, 東京: 2010.
- 6 花田圭司, 岸本三郎. 第3章 外科処置の基本 Photodynamic therapy 光線力学療法. 皮膚外科学. 影山博之編集. 学研メディカル秀潤社, 東京: 2010.

(B-b) 和文総説

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎の治療ガイドラインと正しい治療. 日皮会誌 120 (13): 2564-2565, 2010.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎の病態と治療-最近の話題. 日本皮膚科学会認定専門医研修講習会テキスト (中部支部企画): 1-15, 2010.
- 3 加藤則人. アトピー性皮膚炎の内服療法. 特集 アトピー性皮膚炎の正しい治療. 医薬ジャーナル 46: 986-989, 2010.

- 4 加藤則人. 特集-アレルギー疾患の治療 アトピー性皮膚炎の薬物治療. *Medicament News* 第2014号: 9-10, 2010.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎の根本治療. *Topics in Atopy*9:26-30, 2010.
- 6 加藤則人. アトピー性皮膚炎に対するタクロリムス外用療法-使い方のポイント-. *アレルギーの臨床* 30: 69-72, 2010.
- 7 加藤則人. アトピー性皮膚炎-外用治療の実際 アトピー性皮膚炎に対するタクロリムス外用療法. *Allergia Trends* 12: 22-23, 2010.
- 8 加藤則人. 日々の診療を楽しくするコミュニケーションスキル. *日臨皮会誌* 27 (3): 296-298, 2010.
- 9 益田浩司, 加藤則人. 子供の皮膚疾患の診かた 小児皮膚疾患 汗の異常. *小児科* 51: 676-677, 2010.
- 10 益田浩司, 加藤則人. アレルギー性皮膚疾患-最近の話題. *京府医大誌* 119: 877-883, 2010.
- 11 益田浩司. 難治性蕁麻疹の治療の工夫. *皮膚病診療* 32 (2): 203-208, 2010.
- 12 浅井 純. 肉芽腫、黄色腫群、結節状・びまん性湿潤性疾患. *日皮会誌* 120 (13): 2602-2605, 2010.

(C-a) 英文原著

- 1 Nakai N, Takenaka H, Katoh N, Kishimoto S. Basal cell carcinoma with a skip lesion on the nose after repeated cryotherapy. *J Dermatol* 37: 390-392, 2010. (IF=2.252)
- 2 Nakai N, Kishida T, Hartmann G, Katoh N, Imanishi J, Kishimoto S, Mazda O. IL-12 gene transfer cooperates with Mitf silencing to inhibit melanoma in mice. *Int Immunopharmacol.* 10: 540-545, 2010. (IF=2.472)
- 3 Nakai N, Hartmann G, Kishimoto S, Katoh N. Dendritic cell vaccination in human melanoma: relationships between clinical effects and vaccine parameters. *Pigment Cell Melanoma Res.* 23: 607-619, 2010. (IF=4.619)
- 4 Nakai N, Okuzawa Y, Katoh N, Kishimoto S. Persistent congenital milia involving the skin of the whole body in an infant with trisomy 13 syndrome. *Pediatr Dermatol.* 27: 657-8, 2010. (IF=1.015)

- 5 Tamagawa-Mineoka R, Katoh N, Kishimoto S. Platelet activation in patients with psoriasis: increased plasma levels of platelet-derived microparticles and soluble P-selectin. *J Am Acad Dermatol* 62: 621-626, 2010. (IF=4.449)
- 6 Tamagawa-Mineoka R, Katoh N, Yoneda K, Cho Y, Kishimoto S. Systemic allergic contact dermatitis due to phenylephrine in eyedrops, with a long-lasting allergic patch test reaction. *Eur J Dermatol* 20: 125-126, 2010. (IF=1.990)
- 7 Tsuji M, Nakai N, Ueda E, Takenaka H, Katoh N, Kishimoto S. Double cancer of plantar malignant melanoma and vulvar extramammary Paget's disease. *J Dermatol* 37: 484-487, 2010. (IF=2.252)

(C-b) 和文原著

- 1 加藤則人. マキサカルシトールローションとクロベタゾールプロピオン酸エステルローションによるSequential Therapyの被髪頭部の尋常性乾癬に対する有用性検討. *西日本皮膚科*72 (3) : 246-249, 2010.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎に対するタクロリムス外用療法-使い方のポイント-. *アレルギーの臨床*30 : 1017-1020, 2010.
- 3 益田浩司, 加藤則人. 湿疹・皮膚炎に対する抗ヒスタミン薬の有効性および安全性の検討. *新薬と臨床*59 : 967-974, 2010.
- 4 森原 潔, 森原 徹. 脱毛症における八味地黄丸の有効性の検討. *漢方医学*34 (2) : 176-181, 2010.
- 5 佐野陽平, 坂元花景, 益田浩司, 上田英一郎, 加藤則人, 岸本三郎. 外陰部に生じたpseudoverrucous papules and nodules. *皮膚病診療*32 (6) : 659-662, 2010.
- 6 中村直美, 加藤則人. The Red Scrotum Syndromeの1例. *皮膚臨床*52 (10) : 1490-1491, 2010.
- 7 今井 慎, 水谷浩美, 九後幸子, 三上大輔, 上田英一郎, 加藤則人, 岸本三郎, 市村麻衣. むずむず脚症候群および睡眠時無呼吸症候群による不眠がみられたアトピー性皮膚炎の1例. *皮膚臨床*52 (6) : 825-828, 2010.
- 8 上田幸子, 浅井 純, 加藤則人. コレステロール結晶塞栓症. *皮膚病診療* 32 (1) : 61-64, 2010.
- 9 鎌田恵美子, 田嶋佐妃, 水谷浩美, 西田睦美, 浅井 純, 竹中秀也. ステロイド長期内服患者に生じた壊死性筋膜炎の1例. *日皮外誌*14 (2) : 118-119, 2010.

- 10 川西恵美子, 田嶋佐妃, 水谷浩美, 西田睦美, 浅井 純, 竹中秀也, 岸本三郎. 全身性エリテマトーデスに対するステロイド長期内服中に生じた壊死性筋膜炎による広範囲皮膚欠損を上皮化しえた1例. 臨皮64 (10) : 769-773, 2010.
- 11 小森敏史, 曾我富士子, 上田亜紀子, 永田 誠. 壊疽性丘疹状結核疹-BCG接種後に生じた例. 皮膚病診療32 (3) : 291-294, 2010.
- 12 西田睦美, 森安麻美, 浅井 純, 竹中秀也, 岸本三郎, 中村えり子. 成人女性の右大腿に発生した巨細胞性線維芽細胞腫の1例. 臨皮64 (3) : 239-242, 2010.
- 13 齊藤睦美, 近森亜紀子, 松永晋作, 大塩ゆず, 飯田沙織, 佐野陽平, 花田圭司, 加藤則人. スピロノラクトンとトラセミドによるacute generalized exanthematous pustulosisの1例. 臨皮64 (12) : 916-920, 2010.
- 14 飯田沙織, 水谷浩美, 西田睦美, 浅井 純, 小森由美, 竹中秀也, 岸本三郎. Buerger病患者に発症した多発筋肉内膿瘍の1例. 皮膚臨床52 (1) : 63-66, 2010.
- 15 飯田沙織, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人. 間擦部に生じたGranular Parakeratosisの1例. 皮膚臨床52 (13) : 1981-1984, 2010.
- 16 田嶋佐妃, 今井 慎, 加藤佐代子, 鶴飼恭子, 小森由美, 益田浩司, 竹中秀也, 岸本三郎, 奥山智緒. 再生不良性貧血による代償性造血がFDG-PETにより骨転移と見誤られた悪性黒色腫の1例. 臨皮64 (4) : 328-332, 2010.
- 17 辻 正孝, 田嶋佐妃, 中井大介, 小森由美, 浅井 純, 上田英一郎, 竹中秀也, 加藤則人, 岸本三郎, 黄原久美子, 森原 潔. 左腋窩、右前腕および右下腿後面にSchwannomaを発症したSchwannomatosisの1例. 皮膚臨床52 (7) : 997-1001, 2010.
- 18 寺田美奈子, 北川朋子, 益田浩司, 加藤則人. 高ケトン血症を呈した色素性痒疹の1例. Visual Dermatology9 (10) : 1036-1037, 2010.
- 19 中野真佑, 臼井智彦, 峠岡理沙, 浅井 純, 花田圭司, 森原 潔, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人, 岸本三郎. Triple Extramammary Paget's Diseaseの1例. 皮膚臨床52 (5) : 749-752, 2010.
- 20 水谷浩美, 宮崎 愛, 峠岡理沙, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人, 岸本三郎. 悪性増殖性外毛根鞘性囊腫の1例. 臨皮64 (6) : 407-410, 2010.

- 21 小澤昭子, 井上歩美, 辻 正孝, 九後幸子, 北川朋子, 竹中秀也, 加藤則人, 岸本三郎. 多重癌を合併した陰部乳房外Paget病の1例. 皮膚の科学9 (9) : 485, 2010.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎の治療ガイドラインと正しい治療. 第109回日本皮膚科学会総会, 2010, 大阪.
- 2 浅井 純. 肉芽腫, 黄色腫群, 結節状・びまん性湿潤性疾患. 第109回日本皮膚科学会総会, 2010, 大阪.
- 3 加藤則人. アトピー性皮膚炎の病態と治療-最近の話題. 日本皮膚科学会中部支部企画研修講習会, 2010, 大阪.
- 4 加藤則人. 乾癬の治療と生物学的製剤. 第62回日本皮膚科学会西部支部学術大会ランチョンセミナー, 2010, 倉敷.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Kishida, T, Nakai N, Matsui M, Yoshimoto K, Nakano H, Shin-Ya, M, Shimada T, Nakai S, Hisa Y, Katoh N, Mazda O. Gain-of-function and loss-of-function analyses in vivo of transcriptional factor and cytokine genes using Epstein-Barr virus-based episomal vectors, and their implication to novel strategies of gene therapy and regenerative medicine. 2010 International Symposium on Micro-NanoMechatronics and Human Science: From Micro and Nano Scale Systems to Robotics and Mechatronics Systems, MHS 2010, Micro-Nano GCOE 2010, Bio-Manipulation 2010. 2010 Nov 7; Nagoya.
- 2 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎の疫学. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会. ミニシンポジウム 小児のアトピー性皮膚炎, 2010, 京都.
- 3 加藤則人. アトピー性皮膚炎の疫学・予後を中心に. 第22回日本アレルギー学会春季臨床大会. シンポジウム アレルギー性疾患の疫学-予後を中心に-, 2010, 京都.
- 4 加藤則人. 「乾癬治療の今昔物語」乾癬治療の進歩. 第25回日本乾癬学会学術大会, 2010, 宇部.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Kitagawa T, Arakawa A, Takenaka H, Katoh N. Diffuse alopecia caused by iatrogenic failure of estrogen secretion in a patient with acute lymphocytic leukemia. 6th World Congress of Hair research. 2010 Jun 16-19; Cairns, Australia.
- 2 Katoh N, Tamagawa-Mineoka R, Kotani H, Masuda K. Platelets are activated in circulation of patients with atopic dermatitis. 6th International Symposium on Atopic Dermatitis. 2010 Jul 22; Munich, Germany.
- 3 Masuda K, Tashima S, Katoh N. Anaphylaxis to abalone that was diagnosed by prick test of abalone extracts and immunoblotting for serum immunoglobulin E. New Trends in Allergy VII. 2010 Jul 22; Munich, Germany.
- 4 ○Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Platelets play important roles in recruitment of dendritic cells to skin in contact hypersensitivity. 14th International Congress of Immunology. 2010 Aug 23-27; Kobe, Japan.
- 5 ○Asai J, Takenaka H, Kajiya K, Kishimoto S, Katoh N. Topical Simvastatin Accelerates Wound Healing in Diabetes by Enhancing Lymphangiogenesis. The 40th Annual ESDR Meeting. 2010 Sep 8-11; Helsinki, Finland.
- 6 Hanada K, Takenaka H, Arakawa M, Komori S, Asai J, Kitagawa T, Masuda K, Katoh N. A case of ossifying fibromyxoid tumor on the buttock. The First Eastern Asia Dermatology Congress. 2010 Sep 30-Oct 3; Fukuoka, Japan.

(E) 研究助成（競争的研究助成金）

総額 980 万円

公的助成

代表（総額）・小計 660 万円

- 1 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 平成 21～23 年度
血小板を介する皮膚の炎症反応の制御・収束機構の解明 助成金額 110 万円
- 2 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) 平成 22～24 年度
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関する研究 助成金額 130 万円
- 3 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成22～24年度

女性の男性型脱毛症におけるアンドロゲンレセプターを介した病態に関する研究 助成金額100万円

4 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成21～22年度
スタチンによるリンパ管新生を介した難治性皮膚潰瘍治療の基礎研究 助成金額160万円

5 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成22～23年度
皮膚炎におけるケラチノサイトの機能におよぼす血小板の役割に関する研究 助成金額160万円

分担・小計220万円

1 厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 平成22～24年度

皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究 助成金額200万円

2 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 C) 平成20～22年度
スギ花粉症の免疫疫学的研究 助成金額20万円

財団等からの助成

代表 (総額)・小計100万円

1 第43回(平成22年度)三井生命厚生事業団医学研究助成 平成22年度
自己末梢血由来培養マクロファージ移植による術後リンパ浮腫治療に関する基礎研究 助成金額100万円

業 績 目 録 (平成 23 年)

教室・部門名 皮膚科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎. 今日の治療指針 2011 年版—私はこう治療している. 山口 徹, 北原光夫, 福井次矢総編集. 医学書院, 東京: pp1016-1018, 2011.
- 2 加藤則人. 貨幣状湿疹・自家感作性皮膚炎の病態・診断・鑑別. 148-152、貨幣状湿疹・自家感作性皮膚炎の治療と生活指導. 皮膚科臨床アセット—第 1 巻「アトピー性皮膚炎—湿疹・皮膚炎パーフェクトマスター」. 古江増隆, 中村晃一郎編. 中山書店, 東京: pp148-152, 153-155, 2011.
- 3 加藤則人. アレルギー性皮膚疾患. 毛染めによる接触皮膚炎. 皮膚科診療最前線シリーズ 外来皮膚科 ER 最前線. 宮地良樹編. メディカルビュー社, 大阪: pp186-189, 2011.
- 4 加藤則人. 血栓性静脈炎. 皮膚疾患最新の治療 2010-2011. 瀧川雅浩, 渡辺晋一編. 南江堂, 東京: pp78, 2011.
- 5 加藤則人. ドライスキンとかゆみ. 臨床医必携—全身とかゆみ. 宮地良樹編. 診断と治療社, 東京: pp35-36, 2011.
- 6 竹中秀也. Q4 前額に皮膚色小結節の多発 (老人性脂腺増殖症) をみたら? Q5 体中に赤い小結節 (老人性血管腫) をみたら? Q6 パンツに出血点 (外陰部被角血管腫) をみたら? 高齢者の皮膚トラブル FAQ. 宮地良樹, 北 徹編集. 診断と治療社, 東京: pp196-204, 2011.
- 7 浅井 純. 柵状肉芽腫の像を呈する疾患の病理組織学的鑑別点. suppurative granuloma の像を呈する疾患の病理組織学的鑑別点. 皮膚科臨床アセット第 9 巻「エキスパートに学ぶ皮膚病理診断学」. 古江増隆, 山元修編. 中山書店, 東京: pp235-239, 245-248, 2011.

(B-b) 和文総説

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎のプロアクティブ療法. 臨皮 65 (5):
- 2 140-142, 2011.
- 3 加藤則人. 皮膚科軟膏処置—免疫抑制外用薬の使い方. 皮膚病診療 33 増

刊号：22-27, 2011.

- 4 加藤則人. ズック靴皮膚炎とアトピー性皮膚炎. 特集：アトピー性皮膚炎：表皮の時代. *Visual Dermatology* 10 (12) : 1262-1263, 2011.
- 5 加藤則人. 金属と接触皮膚炎. 皮膚科セミナリウム. 日皮会誌 121 ; 2049-2052, 2011.
- 6 浅井 純. 組織球／マクロファージやランゲルハンス細胞が主体をなす皮膚疾患. *Monthly Book Derma*117 : 144-152, 2011.
- 7 峠岡理沙, 加藤則人. アトピー性皮膚炎における血小板の役割. 血栓止血誌 22 : 77-80, 2011.

(C-a) 英文原著

- 1 Nomiyama T, Arakawa A, Hattori S, Konishi K, Takenaka H, Katoh N. Intractable diffuse Alopecia caused by multifactorial side-effects in treatment of acute lymphocytic leukemia: connection to iatrogenic failure of estrogen secretion. *Pediatr Dermatol* [Epub ahead of print], 2011. (IF=1.015)
- 2 Tamagawa-Mineoka R, Kishida T, Mazda O, Katoh N. IL-21 reduces immediate hypersensitivity reactions in mouse skin by suppressing mast cell activation or IgE production. *J Invest Dermatol* 131: 1513-20, 2011. (IF=7.216)
- 3 Nakamura N, Asai J, Daito J, Takenaka H, Katoh N. Interstitial granulomatous dermatitis? An unusual presentation in the mucosa and periungual skin. *J Dermatol* 38: 382-5, 2011. (IF=2.252)
- 4 Wada M, Asai J, Asai A, Nakai D, Kishimoto S, Katoh N. Giant cell arteritis with polymyalgia rheumatica associated with influenza vaccination. *J Dermatol* 38(11): 1099-1101, 2011. (IF=2.252)
- 5 Mihara K, Shindo H, Ohtani M, Nagasaki K, Nakashima R, Katoh N, Kishimoto S. Early depth assessment of local burns by videomicroscopy: 24 h after injury is a critical time point. *Burns* 37(6): 986-93, 2011. (IF=1.880)
- 6 Morihara K, Takenaka H, Morihara T, Katoh N. Cutaneous *Mycobacterium chelonae* infection successfully treated with

- faropenem. *J Dermatol* 38: 211-3, 2011. (IF=2.252)
- 7 Morihara K, Arakawa Y, Takenaka H, Morihara T, Katoh N. Systemic lupus erythematosus following vaccination against 2009 influenza A (H1N1). *Lupus* 20: 775-6, 2011. (IF=2.197)
 - 8 Arakawa Y, Nakai N, Katoh N. Celecoxib-induced erythema multiforme-type drug eruption with a positive patch test. *J Dermatol* 38(12): 1185-1188, 2011. (IF=2.252)
 - 9 Isohisa T, Nakai N, Okuzawa Y, Yamada M, Arizono N, Katoh N. Case of tick bite with infestation of an extraordinary number of larval *Amblyomma testudinarium* ticks. *J Dermatol* 38: 1110-1112, 2011. (IF=2.252)
 - 10 Fukuda S, Hamada T, Ishii N, Sakaguchi S, Sakai K, Akiyama M, Shimizu H, Masuda K, Izu K, Teye K, Tsuruta D, Karashima T, Nakama T, Yasumoto S, Hashimoto T. Novel adenosine triphosphate (ATP)-binding cassette, subfamily A, member 12 (ABCA12) mutations associated with congenital ichthyosiform erythroderma. *Br J Dermatol* 161: 218-221, 2011. (IF=4.275)
 - 11 Voth H, Nakai N, Wardelmann E, Wenzel J, Bieber T, Wendtner CM, Reinhard G, Schmid-Wendtner MH. Malignant peripheral nerve sheath tumor of the scalp: case report and review of the literature. *Dermatol Surg* 37: 1684-8, 2011. (IF=2.109)

(C-b) 和文原著

- 1 奥沢康太郎, 中井章淳, 加藤則人. 13 トリソミーの患児の全身に多発した稗粒腫. *皮膚病診療* 33 (2) : 141-144, 2011.
- 2 村本睦子, 森安麻美, 市橋かおり, 竹中秀也, 加藤則人, 伊藤博敏. 拍動が触れ血管性病変が疑われた腎細胞癌の皮膚転移の1例. *臨皮* 65 (4) : 335-337, 2011. (放射線科学との共同)
- 3 峠岡理沙, 加藤則人. アトピー性皮膚炎における血小板の役割. *血栓止血誌* 22 (3) : 77-80, 2011.
- 4 中村直美, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人. 甲状腺機能亢進症患者に生じ、タクロリムス軟膏が奏効した角層下膿疱症の1例. *皮臨* 53 (8) : 1159-1161, 2011.

- 5 浅井 愛, 浅井 純, 竹中秀也, 加藤則人, 三神一哉. 尿管膿瘍の1例. 西日皮膚 73 (4) : 375-377, 2011. (泌尿器科学との合同)
- 6 磯久太郎, 益田浩司, 影山京子, 中井章淳, 加藤則人. ロクロニウムによるアナフィラキシーの1例. 臨皮 65 (12) : 937-940, 2011. (麻酔学との共同)
- 7 若林祐輔, 貫野 賢, 寺田美奈子, 小森敏史, 浅井 純, 竹中秀也, 加藤則人, 森原 潔. 切除範囲の決定にマッピングバイオプシーを用いた鼻部基底細胞癌の1例. 臨皮 65 (13) : 1075-1078, 2011.
- 8 稲澤 (寺田) 美奈子, 北川朋子, 竹中秀也, 池田佳弘, 奥田良三, 岸本三郎. 頭部腫瘤を呈した悪性末梢神経鞘腫の1例. 皮膚臨床 53 (9) : 1333-1336, 2011.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 加藤則人. 患者満足度を高める乾癬の診療を目指して. 第 57 回日本皮膚科学会高知地方会, 2011, 高知.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎の治療効果を高めるコミュニケーションのコツ. 第 41 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会ランチョンセミナー, 2011, 甲府.
- 3 加藤則人. アトピー性皮膚炎の治療のゴールと抗ヒスタミン薬の役割. 日本皮膚科学会中部支部学術大会ランチョンセミナー, 2011, 四日市.
- 4 浅井 純. 研究皮膚科入門 研究皮膚科のススメ. 第 62 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2011, 四日市.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎 2011. 第 23 回日本アレルギー学会春期臨床大会. 臨床アップデート Allergy: Year in review, 2011, 千葉.
- 2 平野眞也, 加藤則人. 抗ヒスタミン薬使用法のポイント: 開業医の立場から. 第 27 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 2011, 大阪.
- 3 加藤則人. アトピー性皮膚炎の病態と血小板. 第 41 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会. シンポジウム アトピー性皮膚炎 Up date, 2011, 甲府.

Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Nomiya T, Nakano M, Kanehisa F, Ozawa A, Kanna S, Wada M, Inazawa M, Cho Z, Hattori J, Okuzawa Y, Katoh N. Pulse corticosteroid therapy for recent-onset severe alopecia areata. 22nd World Congress of Dermatology. 2011 May 25; Seoul, Korea.
- 2 Isohisa T, Masuda K, Nakai A, Katoh N. Angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia treated successfully with imiquimod. 22nd World Congress of Dermatology. 2011 May 25; Seoul, Korea.
- 3 Wakamori T, Masuda K, Katoh N. Season of birth and atopic dermatitis. 22nd World Congress of Dermatology. 2011 May 25; Seoul, Korea.
- 4 Mihara K, Shindo H, Ohtani M, Nagasaki K, Nakashima R, Katoh N. Early depth assessment of local burns by videomicroscopy -24 hr after injury is a critical time point-. 22nd World Congress of Dermatology. 2011 May 25; Seoul, Korea.

(E) 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 1,170 万円

公的助成

代表 (総額) ・小計 970 万円

- 1 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 21~23 年度
血小板を介する皮膚の炎症反応の制御・収束機構の解明 助成金額 110 万円
- 2 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 22~24 年度
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関する研究 助成金額 100 万円
- 3 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22~24 年度
女性の男性型脱毛症におけるアンドロゲンレセプターを介した病態に関する研究 助成金額 90 万円
- 4 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 23~24 年度
自己末梢血由来培養マクロファージ移植による術後リンパ浮腫治療に関する基礎研究 助成金額 170 万円
- 5 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 22~23 年度

皮膚炎におけるケラチノサイトの機能におよぼす血小板の役割に関する研究 助成金額160万円

6 科学技術振興機構（平成 23 年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP
フィージビリティスタディ（FS）ステージ探索タイプ

スタチン外用による難治性皮膚潰瘍の新規治療法の開発 助成金額 170 万円

7 科学技術振興機構（平成 23 年度研究成果最適展開支援プログラム A-STEP
フィージビリティスタディ（FS）ステージ探索タイプ

血小板の機能制御による炎症性皮膚疾患の新規の治療法の開発 助成金額 170
万円

分担・小計 200 万円

厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 平成 22
～24 年度

皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究 助成金額
200 万円

業績目録（平成24年）

教室・部門名 皮膚科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 加藤則人. 4.湿疹・皮膚炎, 痒疹, 紅皮症. 「手湿疹」. 今日の皮膚疾患治療指針第4版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: pp293-294, 2012.
- 2 加藤則人. 4.湿疹・皮膚炎, 痒疹, 紅皮症. 「おむつ皮膚炎」. 今日の皮膚疾患治療指針第4版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: pp299, 2012.
- 3 加藤則人. 4.湿疹・皮膚炎, 痒疹, 紅皮症. 「脂漏性皮膚炎」. 今日の皮膚疾患治療指針第4版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: pp295-296, 2012.
- 4 加藤則人. 4.湿疹・皮膚炎, 痒疹, 紅皮症. 「貨幣状湿疹」. 今日の皮膚疾患治療指針第4版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: pp297-298, 2012.
- 5 加藤則人. 33.内臓病変と皮膚病変. 「眼科疾患と皮膚病変」. 今日の皮膚疾患治療指針第4版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: pp963-964, 2012.
- 6 加藤則人. ステロイド外用剤と他の外用剤の比較と使い分け. 正しいステロイドの使い方. 2. 外用剤編. 第3版. 塩原哲夫編. 医薬ジャーナル社, 大阪: pp55-61, 2012.
- 7 加藤則人. ステロイド外用療法－患者指導のコツ－. 匠に学ぶ皮膚科外用療法－古きを生かす、最新を使う－. 上出良一編. 全日本病院出版会, 東京: pp166-169, 2012.
- 8 加藤則人. 「アレルギー反応の古典的分類は今」. 皮膚科サブスペシャリティシリーズ 6 巻, 一冊で分かる皮膚アレルギー. 塩原哲夫, 宮地良樹, 清水宏編. 文光堂, 東京: pp2-6, 2012.
- 9 加藤則人. 「血小板」. 皮膚科サブスペシャリティシリーズ 6 巻, 一冊で分かる皮膚アレルギー. 塩原哲夫, 宮地良樹, 清水宏編. 文光堂, 東京: pp36-37, 2012.

- 10 加藤則人. 「IgE の役割は?」. 皮膚科サブスペシャリティシリーズ 6 巻, 一冊で分かる皮膚アレルギー. 塩原哲夫, 宮地良樹, 清水宏編. 文光堂, 東京: pp119-121, 2012.
- 11 加藤則人. ビタミン D3 外用剤. 皮膚科臨床アセット 2 「乾癬とその類症」. 大槻マミ太郎編. 中山書店, 東京: pp226-230, 2012.
- 12 加藤則人. 「手湿疹はなぜ主婦湿疹とよばれる?」. 女性の皮膚トラブル FAQ. 宮地良樹編. 診断と治療社, 東京: pp192-197, 2012.
- 13 加藤則人. 「Vidal 苔癬が女性に多いわけは?」. 女性の皮膚トラブル FAQ. 宮地良樹編. 診断と治療社, 東京: pp223-229, 2012.
- 14 竹中秀也. 19.物理・化学的皮膚障害. 「鶏眼、胼胝」. 今日の皮膚疾患治療指針第 4 版. 塩原哲夫, 宮地良樹, 渡辺晋一, 佐藤伸一編集. 医学書院, 東京: 2012.
- 15 浅井 純. 47.柵状肉芽腫の像を呈する疾患の病理組織学的鑑別点. 皮膚科臨床アセット 9 エキスパートに学ぶ皮膚病理診断学. 古江増隆総編集. 中山書店, 東京: pp235-239, 2012.
- 16 浅井 純. 49.suppurative granuloma の像を呈する疾患の病理組織学的鑑別点. 皮膚科臨床アセット 9 エキスパートに学ぶ皮膚病理診断学. 古江増隆総編集. 中山書店, 東京: pp245-248, 2012.

(B-b) 和文総説

- 1 加藤則人. 特集/難治性足病変の治し方 汗疱・異汗性湿疹. MB Derma188 : 41-44, 2012.
- 2 加藤則人. 整形外科医が知っておくべき皮膚疾患の知識. 日整会誌 86 : 1149-1154, 2012.
- 3 竹中秀也. 特集/難治性足病変の治し方 鶏眼・胼胝. MB Derma188 : 1-7, 2012.
- 4 益田浩司, 磯久太郎, 加藤則人. ロクロニウムとアナフィラキシー. 皮膚臨床 54 (11) : 1487-1490, 2012.
- 5 野見山朋子. 脱毛症治療の実際とその効果、円形脱毛症:ステロイド局注療法. MB Derma189 : 40-44, 2012.
- 6 浅井 純. 特集/難治性足病変の治し方 血行障害、皮膚潰瘍の保存的療法. MB Derma188 : 19-25, 2012.

- 7 峠岡理沙, 加藤則人. アトピー性皮膚炎の病態形成における血小板の役割. 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌 6 : 410-416, 2012.

(C-a) 英文原著

- 1 Masuda K, Tashima S, Katoh N, Shimakura K. Anaphylaxis to abalone that was diagnosed by prick test of abalone extracts and immunoblotting for serum immunoglobulin E. *Int J Dermatol* 51: 359-360, 2012. (IF=1.312)
- 2 Nakai N, Katoh N. Value of a lymphocyte transformation test for diagnosis of maculopapular and erythema multiforme type drug eruption due to lamotrigine: three case reports. *J Dermatol* 39: 1083-1084, 2012. (IF=2.252)
- 3 OAsai J, Takenaka H, Hirakawa S, Sakabe J, Hagura A, Kishimoto S, Maruyama K, Kajiya K, Kinoshita S, Tokura Y, Katoh N. Topical simvastatin accelerates wound healing in diabetes by enhancing angiogenesis and lymphangiogenesis. *Am J Pathol* 181: 2217-2224, 2012. (IF=4.591)
- 4 ONishimura Y, Ii M, Qin G, Hamada H, Asai J, Takenaka H, Sekiguchi H, Renault MA, Jujo K, Katoh N, Kishimoto S, Ito A, Kamide C, Kenny J, Millay M, Misener S, Thorne T, Losordo DW. CXCR4 Antagonist AMD3100 Accelerates Impaired Wound Healing in Diabetic Mice. *J Invest Dermatol* 132: 711-20, 2012. (IF=7.216)
- 5 Kotani H, Masuda K, Tamagawa-Mineoka R, Nomiyama T, Soga F, Nin M, Asai J, Kishimoto S, Katoh N. Increased plasma LIGHT levels in patients with atopic dermatitis. *Clin Exp Immunol* 168: 318-324, 2012. (IF=3.037)
- 6 Wada M, Masuda K, Tsuruta D, Tamai K, Lai-Cheong JE, McGrath JA, Katoh N. Case of Kindler syndrome resulting from mutation in the FERMT1 gene. *J Dermatol* 39: 1057-1058, 2012. (IF=2.252)
- 7 Mizutani H, Masuda K, Nakamura N, Takenaka H, Tsuruta D, Katoh N. Cutaneous and Laryngeal Squamous Cell Carcinoma in Mixed Epidermolysis Bullosa, Kindler Syndrome. *Case Rep Dermatol* 4: 133-138, 2012.
- 8 Arakawa Y, Nakai N, Katoh N. A rare case of basal cell carcinoma arising

- in a nevus sebaceous on the upper arm. *J Dermatol* 39: 931-932, 2012. (IF=2.252)
- 9 Ozawa A, Nomiya T, Nakai N, Hartmann G, Takenaka H, Kishimoto S, Katoh N. Immunohistological analysis of in-transit metastasis in a patient with advanced melanoma treated with combination therapy of cytosine guanine dinucleotide oligodeoxynucleotide, dacarbazine and beta-interferon: a case report. *J Dermatol* 39: 1035-1037, 2012. (IF=2.252)
 - 10 Wakabayashi Y, Nakai N, Takenaka H, Katoh N. Superficial acral fibromyxoma of the great toe: case report and mini-review of the literature. *Acta Dermatovenerol Croat* 20: 263-266, 2012. (IF=0.431)
 - 11 Yamamoto Y, Nakai N, Wakabayashi Y, Okuzawa Y, Asai J, Takenaka H, Katoh N. A case of advanced cutaneous squamous cell carcinoma of the lower eyelid that was successfully treated with tegafur-gimeracil-oteracil potassium monotherapy. *J Am Acad Dermatol* 67: e233-4, 2012. (IF=4.449)
 - 12 Mihara K, Shindo H, Mihara H, Ohtani M, Nagasaki K, Katoh N. Early depth assessment of local burns by videomicroscopy: novel proposed classification. *Burns* 38: 371-377, 2012. (IF=1.880)
 - 13 Uhara H, Yamazaki N, Takata M, Inoue Y, Sakakibara A, Nakamura Y, Suehiro K, Yamamoto A, Kamo R, Mochida K, Takenaka H, Yamashita T, Takenouchi T, Yoshikawa S, Takahashi A, Uehara J, Kawai M, Iwata H, Kadono T, Kai Y, Watanabe S, Murata S, Ikeda T, Fukamizu H, Tanaka T, Hatta N, Saida T. Applicability of radiocolloids, blue dyes and fluorescent indocyanine green to sentinel node biopsy in melanoma. *J Dermatol* 39(4): 336-338, 2012. (IF=2.252)
 - 14 Chiyonobu T, Nakata S, Komori S, Katoh N, Ikegaya H, Nishimura A, Morimoto M, Hosoi H. Fatal varicella with multi-organ failure associated with low-dose adrenocorticotrophic hormone therapy. *Pediatr Int* 54: 305-306, 2012. (IF=0.730)
 - 15 Nakamizo S, Katoh N, Miyachi Y, Kabashima K. Atypical nail dystrophy in a possible case of Nagashima-type palmoplantar keratosis. *J Dermatol* 39: 470-471, 2012. (IF=2.252)
 - 16 Fukuda S, Hamada T, Ishii N, Sakaguchi S, Sakai K, Akiyama M, Shimizu H, Masuda K, Izu K, Teye K, Tsuruta D, Karashima T, Nakama T, Yasumoto S,

Hashimoto T. Novel adenosine triphosphate (ATP)-binding cassette, subfamily A, member 12 (ABCA12) mutations associated with congenital ichthyosiform erythroderma. *Br J Dermatol* 166: 218-221, 2012. (IF=4.275)

(C-b) 和文原著

- 1 奥沢康太郎, 中井章淳, 加藤則人, 末廣晃宏. 著明な血小板減少を伴ったマムシ咬傷の1例. *臨皮* 66 (9) : 737-740, 2012.
- 2 張 財源, 大東淳子, 花田圭司, 竹中秀也, 加藤則人. Brooke-Spiegler 症候群. *皮膚病診療* 34 (3) : 265-268, 2012.
- 3 和田 誠, 花田圭司, 保田宏明, 加藤則人. グルカゴノーマ診断の契機になった壊死性遊走性紅斑の1例. *皮膚臨床* 54 (2) : 237-239, 2012. (消化器内科学との共同)
- 4 辻 正孝, 北嶋 渉, 若森 健, 永田 誠, 益田浩司, 加藤則人. ダナゾールの急性期投与が奏功した遺伝性血管浮腫の1例. *皮膚臨床* 54 (3) : 415-417, 2012.
- 5 尾藤三佳, 和田 誠, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人. 太田母斑の雪状炭酸圧療法後に生じた多発性基底細胞癌の1例. *臨皮* 66 (12) : 979-983, 2012.
- 6 尾藤三佳, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人. 皮膚症状から高コレステロール血症Ⅱa型が判明した結節性黄色腫の1例. *日小皮会誌* 31 (3) : 189-192, 2012.
- 7 磯久太郎, 若林祐輔, 小森敏史, 浅井 純, 竹中秀也, 加藤則人. 断端の確定が困難であった右足踵に生じた悪性黒色腫の1例. *日皮外会誌* 16 (1) : 92-94, 2012.
- 8 磯久太郎, 若林祐輔, 小森敏史, 浅井 純, 竹中秀也, 加藤則人. 広範囲の表皮内に腫瘍細胞を認めた踵部悪性黒色腫の1例. *臨皮* 66 (11) : 895-898, 2012.
- 9 山本祐理子, 服部淳子, 峠岡理沙, 益田浩司, 千貫祐子, 森田栄伸, 加藤則人. 茶のしずく石鹼®以外の加水分解小麦含有石鹼を使用していた患者にみられた小麦アレルギーの1例. *臨皮* 66 (12) : 940-943, 2012.
- 10 三上千花, 横瀬千美, 飯田沙織, 辻 正孝, 益田浩司, 加藤則人. 豆乳アレルギーの2例. *皮膚の科学* 11 (4) : 286-289, 2012.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎のアドヒアランスを高めるコミュニケーションスキル. 第 24 回日本アレルギー学会春期臨床大会, 2011, 大阪.
- 2 加藤則人. 日常診療の要点—整形外科医が知っておくべき皮膚疾患—. 第 85 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 京都.
- 3 加藤則人. ウェットベンチだけが研究ではない!—カルテを調べて深めるアトピー性皮膚炎の診療. 第 111 回日本皮膚科学会総会, 2012, 京都.
- 4 益田浩司. アトピー性皮膚炎の治療: 内服療法のポイント. 第 111 回日本皮膚科学会総会, 2012, 京都.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎の治療: 最近の知見と患者の思い. アトピー性皮膚炎の最新治療. 第 42 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会イブニングセミナー, 2012, 長野.
- 6 加藤則人. 治療のゴールを意識したアトピー性皮膚炎の治療. 第 64 回日本皮膚科学会西部支部学術大会イブニングセミナー, 2012, 広島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 ○Asai J. Podoplanin regulates keratinocyte proliferation and migration during cutaneous wound healing in mice. Future Leaders in Dermatology Symposium. ESDR2012. 2012 Sep 19-22; Venice, Italy.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎に対する外用療法の新展開: プロアクティブ療法. 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012, 大阪.
- 3 中井章淳、加藤則人. ラモトリギンによる薬疹-DLST の有用性-自験 3 例と本邦報告例の検討. 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012, 大阪.
- 4 峠岡理沙、益田浩司、加藤則人. 成人アトピー性皮膚炎および蕁麻疹患者における血清 IL-33 の検討. 第 24 回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2012, 大阪.
- 5 中井章淳. 標準治療と温清飲の併用が早期寛解導入に有効と考えられた重症成人型アトピー性皮膚炎の 1 例. 第 63 回日本東洋医学会学術総会, 2012, 京都.
- 6 加藤則人. 手湿疹の治療について. 第 42 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 2012, 軽井沢.

- 7 加藤則人. 血小板由来の痒みのメディエーターアトピー性皮膚炎における役割ー. 第22回国際痒みシンポジウム, 2012, 東京.
- 8 竹中秀也. 左膝部に生じた慢性膿皮症. 第63回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2012, 大阪.

Ⅲ) 国際学会における一般講演

- 1 Masuda K, Yamamoto Y, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Clinical characteristics of patients with wheat allergy induced by hydrolyzed wheat protein in facial soap. 2nd Eastern Asia Dermatology Congress. 2012 Jun 13-15; Beijing, China.
- 2 Nakai N, Katoh N. Usefulness of lymphocyte transformation test for the analysis of adverse reactions to antiepileptic drug lamotrigine: three cases of erythema multiforme-type drug eruption and review of the literature in Japan. 2nd Eastern Asia Dermatology Congress. 2012 Jun 13-15; Beijing, China.
- 3 ○Daito J, Harada Y, Tamagawa-Mineoka R, Dai P, Katoh N, Takamatsu T. Analysis on spatio-temporal distribution of platelets in cutaneous inflamed sites of mouse contact dermatitis. 14th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry. 2012 Aug 26-29; Kyoto, Japan.
- 4 ○Asai J, Hirakawa S, Sakabe J, Kishida T, Mazda O, Urano T, Suzuki-Inoue K, Tokura Y, Katoh N. Regulation of keratinocyte migration by podoplanin during cutaneous wound healing in mice. ESDR2012. 2012 Sep 19-22; Venice, Italy.
- 5 ○Asai J, Hirakawa S, Sakabe J, Kishida T, Mazda O, Urano T, Suzuki-Inoue K, Tokura Y, Katoh N. Regulation of keratinocyte proliferation by podoplanin during cutaneous wound healing in mice. The 37th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. Dec 7-9; Okinawa, Japan. (免疫学との共同)
- 6 Sano Y, Masuda K, Tamagawa-Mineoka R, Matsunaka H, Murakami Y, Yamashita R, Morita E, Katoh N. Thymic stromal lymphopoietin expressions is increased in the horny layer of patients with atopic dermatitis. The 37th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. Dec 7-9; Okinawa, Japan.

(E) 研究助成（競争的研究助成金）

総額 1,390 万円

公的助成

代表（総額）・小計 1,190 万円

- 1 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 24～26 年度
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明
助成金額 150 万円
- 2 地域関連課題等研究支援費 平成 24 年度
京都府南部の山間部における小中学生のアトピー性皮膚炎の発症・寛解とその
背景因子に関する研究 助成金額 80 万円
- 3 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 22～24 年度
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関
する研究 助成金額 90 万円
- 4 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B） 平成 22～24 年度
女性の男性型脱毛症におけるアンドロゲンレセプターを介した病態に関する研
究 助成金額 90 万円
- 5 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B） 平成 24～25 年度
データベース化を目指したヒトメラノーマ特異的 RNA 干渉分子療法の開発
助成金額 230 万円
- 6 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究（B） 平成 23～24 年度
自己末梢血由来培養マクロファージ移植による術後リンパ浮腫治療に関する基
礎研究 200 万円
- 7 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 24～26 年度
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開
発 助成金額 160 万円
- 8 科学技術振興機構（平成 24 年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）
フィージビリティスタディ・ステージ 探索タイプ） 平成 24～25 年度
血小板の機能抑制によるアトピー性皮膚炎のプロアクティブ治療外用剤の開発
助成金額 40 万円
- 9 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費 平成 24 年度

血小板機能の制御による炎症性皮膚疾患の新規外用治療剤の開発 助成金額
100 万円

10 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費 平成 24 年度

血管肉腫細胞株に対する分子標的薬による増殖抑制効果の検討 助成金額 50 万
円

分担・小計 200 万円

厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 平成 22
～24 年度

皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究 助成金額
200 万円

業績目録（平成 25 年）

教室・部門名 皮膚科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 加藤則人. 蕁麻疹の診断と鑑別疾患. 皮膚科臨床アセット 16 蕁麻疹・血管性浮腫パーフェクトマスター. 秀道広編. 中山書店, 東京 : pp20-25, 2013.
- 2 加藤則人. 壊疽性膿皮症. 皮膚疾患最新の治療 2013-2014. 瀧川雅浩, 渡辺晋一編. 南江堂, 東京 : pp94-95, 2013.
- 3 加藤則人. 「アトピー性皮膚炎」、「自家感作性皮膚炎」. 今日の臨床サポート. 宮地良樹監修. 永井良三, 福井次矢, 木村健二郎, 上村直実, 桑島巖, 今井 靖, 嶋田 元編. エルゼビア・ジャパン, 東京 : 2013
(<http://clinicalsup.jp/jpoc/>) .
- 4 加藤則人. 「駆梅療法」、「ハッチンソン三徴候」、「後天性梅毒」、「先天梅毒」、「潜伏梅毒」、「パロー徴候」. 南山堂医学大辞典. 南山堂, 東京 : 2013.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎の新患患者さんに最初から抗ヒスタミン薬を処方すべきか? 抗ヒスタミン薬～達人の処方箋 Rx～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp172-175, 2013.
- 6 加藤則人. アトピー性皮膚炎に対する抗ヒスタミン薬の効果を説明する際のポイントは? 抗ヒスタミン薬～達人の処方箋 Rx～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp176-179, 2013.
- 7 加藤則人. 抗ヒスタミン薬を処方する際に確認しておくべきポイントは? 抗ヒスタミン薬～達人の処方箋 Rx～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp266-267, 2013.
- 8 加藤則人. 免疫調整薬（タクロリムス）. 皮膚科サブスペシャリティシリーズ 7 巻, 一冊で分かる皮膚科最新皮膚科治療. 五十嵐敦之, 宮地良樹, 清水 宏編. 文光堂, 東京 : pp17-21, 2013.
- 9 加藤則人. アトピー性皮膚炎に保湿剤はどの程度効くのでしょうか? 続・患者さんから浴びせられる皮膚疾患 100 の質問～達人はどう答え、どう対応するか～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp32-33, 2013.

- 10 加藤則人. アトピー性皮膚炎のプロアクティブ療法について教えてください.
続・患者さんから浴びせられる皮膚疾患 100 の質問～達人はどう答え、どう
対応するか～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp34-35,
2013.
- 11 加藤則人. 眠くならないかゆみ止めがあると聞きましたが本当でしょうか.
続・患者さんから浴びせられる皮膚疾患 100 の質問～達人はどう答え、どう
対応するか～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp64-65,
2013.
- 12 加藤則人. 酒さ様皮膚炎、口囲皮膚炎. 今日の治療指針 2013 年版—私はこ
う治療している. 山口 徹, 北原光夫, 福井次矢総編集. 医学書院, 東京 :
pp1070-1071, 2013.
- 13 竹中秀也. 赤あざは早くレーザーをしたほうがよいでしょうか? 続・患者
さんから浴びせられる皮膚疾患 100 の質問～達人はどう答え、どう対応する
か～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp154-155, 2013.
- 14 竹中秀也. 脂腺母斑は取ったほうがよいでしょうか? 続患者さんから浴
びせられる皮膚疾患 100 の質問. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東
京 : pp156-157, 2013.
- 15 竹中秀也. V 基底細胞癌 臨床症状からの診断. 日本臨床増刊号 皮膚悪
性腫瘍. 日本臨牀社, 大阪 : pp612-614, 2013.
- 16 益田浩司. アレルギー性の蕁麻疹に対する減感作療法. 皮膚科臨床アセッ
ト 16 蕁麻疹・血管性浮腫パーフェクトマスター. 秀 道広編. 中山書店,
東京 : pp186-188, 2013.
- 17 浅井 純. 34. annular elastolytic giant cell granuloma (AEGCG) の臨
床症状と病理組織. 皮膚科臨床アセット 14 肉芽腫性皮膚疾患 サルコイ
ドーシス・他の肉芽腫. 古江増隆総編集. 中山書店, 東京 : pp199-203,
2013.
- 18 和田 誠, 加藤則人. IV 有棘細胞癌 (日光角化症、Bowen 病) 有棘細胞癌
の浸潤・転移に関連する分子. 日本臨床増刊号 皮膚悪性腫瘍. 日本臨牀
社, 大阪 : pp451-455, 2013.
- 19 大東淳子, 加藤則人. 手足の知覚異常を伴う皮疹と抗癌剤投与から疑う手
足症候群. 皮膚科臨床アセット 20 忘れてはならない皮膚科症候群. 土田
哲也編. 中山書店, 東京 : pp16-19, 2013.

(B-b) 和文総説

- 1 加藤則人. 手湿疹の治療について. 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会雑誌 7 : 1-5, 2013.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎に対する外用療法の新展開. 臨床免疫・アレルギー科 59 : 198-203, 2013.
- 3 加藤則人. カルテを調べて深めるアトピー性皮膚炎の診療. 日皮会誌 123 : 1489-1492, 2013.
- 4 益田浩司. 蕁麻疹. 京府医誌 122 (8) : 559-565, 2013.
- 5 浅井 純. 特集/肉芽腫のすべて 総論 : 肉芽腫-臨床を中心に-. Monthly Book Derma.204 : 1-7, 2013.
- 6 蔵本伸生, 益田浩司. 16 発疹. 日本医事新報 4644 : 114-118, 2013.

(C-a) 英文原著

- 1 Nomiyama T, Takenaka H, Kishimoto S, Katoh N. Granuloma annulare-like reaction to the bacillus Calmette-Guerin vaccination. *Australas J Dermatol* 54: e4-7, 2013. (IF=1.106)
- 2 Nakai N, Katoh N. Fixed drug eruption caused by fluconazole: a case report and mini-review of the literature. *Allergol Int* 62: 139-141, 2013. (IF=2.457)
- 3 Nakai N, Hotta E, Asai J, Katoh N. Correlation between soluble Interleukin-2 receptor levels and modified rodnan total skin thickness scores in a patient with generalized morphea: A case report. *Allergol Int* 62(3): 391-393, 2013. (IF=2.457)
- 4 Nakai N, Itoh R, Katoh N. Skin tag of the nipple with blister formation: Two case reports. *J Dermatol* 40(11): 946-947, 2013. (IF=2.252)
- 5 Hanada K, Kishimoto S, Bellier JP, Kimura H. Peripheral choline acetyltransferase in rat skin demonstrated by immunohistochemistry. *Cell Tissue Res* 351(3): 497-510, 2013. (IF=3.565)
- 6 Nin M, Tokunaga D, Ishii N, Komai A, Hashimoto T, Katoh N. Case of coexisting psoriatic arthritis and bullous pemphigoid improved by etanercept. *J Dermatol* 40(1): 55-56, 2013. (IF=2.252)
- 7 ○Asai J, Takenaka H, Ii M, Asahi M, Kishimoto S, Katoh N, Losordo DW. Topical application of ex vivo expanded endothelial progenitor cells

- promotes vascularisation and wound healing in diabetic mice. *Int Wound J* 10(5): 527-533, 2013. (IF=2.150)
- 8 Sano Y, Masuda K, Tamagawa-Mineoka R, Matsunaka H, Murakami Y, Yamashita R, Morita E, Katoh N. Thymic stromal lymphopoitin expression is increased in the horny layer of patients with atopic dermatitis. *Clin Exp Immunol* 171: 330-337, 2013. (IF=3.037)
 - 9 Hotta E, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Allergic contact dermatitis due to ginkgo tree fruit and leaf. *Eur J Dermatol* 2013; 23: 548-9. (IF=1.990)
 - 10 Komori S, Asai J, Takenaka H, Kuroda J, Hirai Y, Iwatsuki K, Katoh N. Chronic active Epstein-Barr virus infection with progression to large granular lymphocytic leukemia. *J Dermatol* 40(6): 487-488, 2013. (IF=2.252) (血液内科学との共同)
 - 11 Mizutani H, Suehiro M, Okuzawa Y, Masuda K, Katoh N. Erosive pustular dermatosis of the arm following burn injury. *Acta Derm Venereol* 93(6): 757-758, 2013. (IF=3.720)
 - 12 Wada M, Hanada K, Kanehisa F, Asai J, Takenaka H, Katoh N. A case of desmoplastic trichoepithelioma with ossification. *Indian J Dermatol* 58: 164, 2013.
 - 13 Isohisa T, Nakai N, Kishimoto M, Katoh N. Skin infiltration of nodal peripheral t-cell lymphoma-not otherwise specified identified by skin biopsy of faint eruptions. *Indian J Dermatol* 58(3): 247, 2013.
 - 14 Isohisa T, Nakai N, Hanada K, Takenaka H, Katoh N. A case of sarcoidosis in a patient with systemic sclerosis. *Indian J Dermatol* 58(2): 165, 2013.
 - 15 Yasuike R, Nakai N, Komori S, Katoh N. Angiokeratoma corporis diffusum in the absence of metabolic disorders: A case report and mini-review of the published work. *J Dermatol* 40(8): 668-669, 2013. (IF=2.252)
 - 16 Yamamoto Y, Wada M, Nakai N, Katoh N. Allergic contact dermatitis due to epsilon-aminocaproic acid: A case report and mini-review of the published work. *J Dermatol* 40(4): 301-303, 2013. (IF=2.252)
 - 17 Yokose C, Nakai N, Katoh N. Maculopapular-Type Drug Eruption Caused by Coughcode®-N Combination Tablets. *Allergol Int* 62(4): 519-521, 2013.

(IF=2.457)

- 18 Yamazato S, Nakai N, Katoh N. Positive skin prick test to cefcapene pivoxil hydrochloride hydrate: A case report. *Allergol Int* 62(2): 263-264, 2013. (IF=2.457)
- 19 Ohshita A, Nakai N, Katoh N, Konishi K. A maculopapular-type eruption associated with deferasirox administration. *J Am Acad Dermatol* 69(5): e265-267, 2013. (IF=4.449)
- 20 Kanto H, Washizaki K, Ito M, Matsunaga K, Akamatsu H, Kawai K, Katoh N, Natsuaki M, Yoshimura I, Kojima H, Okamoto Y, Okuda M, Kuwahara H, Sugiyama M, Kinoshita S, Mori F. Optimal patch application time in the evaluation of skin irritation. *J Dermatol* 40(5): 363-369, 2013. (IF=2.252)

(C-b) 和文原著

- 1 益田浩司, 加藤則人, 中道 寛, 奈良武史, 佐野陽平. 突発性蕁麻疹に対する第 2 世代抗ヒスタミン薬の増量あるいは変更投与の有効性の検討. *新薬と臨床* 62 (11) : 43-49, 2013.
- 2 峠岡理沙, 伊藤令子, 中井章淳, 加藤則人. アトピー性皮膚炎: 眼瞼を強く擦る児童への対処法. *Visual Dermatology*12 : 146-147, 2013.
- 3 峠岡理沙, 和田 誠, 加藤則人. 硫酸フラジオマイシンによる接触皮膚炎. *Visual Dermatology*12 : 162-163, 2013.
- 4 奥沢康太郎, 安池理紗, 山本祐理子, 金久史尚, 中井章淳, 益田浩司, 加藤則人. ステロイド内服とナローバンド UVB の併用療法が有効であった汎発性膿疱性乾癬の妊婦例. *臨皮* 67 (11) : 858-862, 2013.
- 5 飯田沙織, 宮下 文, 竹中秀也, 水原寿夫. 滋賀県で発生したツツガムシ病の 1 例. *臨皮* 67 (2) : 181-184, 2013.
- 6 高橋三起子, 辻 正孝, 野見山朋子, 益田浩司, 池田佳弘, 加藤則人. 総合感冒薬が原因と考えられた血管炎型薬疹の 1 例. *皮膚臨床* 55 (13) : 1916-1920, 2013.
- 7 安池理紗, 奥沢康太郎, 峠岡理沙, 中島久和, 加藤則人. 低亜鉛乳による亜鉛欠乏症の 1 例. *日小皮会誌* 32 (2) : 153-156, 2013. (小児科学との共同)

- 8 横瀬千美, 磯久太郎, 飯田沙織, 峠岡理沙, 浅井 純, 野見山朋子, 竹中秀也, 加藤則人, 中西正芳. 痔瘻を合併し巨大な腫瘍を形成した臀部慢性膿皮症の1例. 皮膚臨床 55 (11) : 1363-1366, 2013.
- 9 横瀬千美, 飯田沙織, 小森敏史, 浅井 純, 花田圭司, 野見山朋子, 益田浩司, 竹中秀也, 加藤則人. 色素性有棘細胞癌の1例. 皮膚臨床 55 (13) : 1953-1956, 2014.
- 10 山里志穂, 中井章淳, 加藤則人. 催涙スプレーによる刺激性接触皮膚炎 血圧・呼吸・脈拍に異常をきたした1例. 臨皮 67 (7) : 476-478, 2013.
- 11 瀧 正勝, 二之湯弦, 山道 怜, 中野 宏, 水谷浩美, 益田浩司, 古林 勤, 黒田純也, 久 育男. 重症組織球性壊死性リンパ節炎の1例. 耳喉頭頸 85 (9) : 725-728, 2013. (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学との共同)

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎の治療アドヒアランスを高める. 第76回日本皮膚科学会東京支部学術大会 ランチョンセミナー, 2013, 東京.
- 2 加藤則人. 信頼関係を築き治療意欲を高めるコーチングスキル. 第112回日本皮膚科学会総会, 2013, 横浜.
- 3 加藤則人. シクロスポリンの安全使用マニュアルに基づく乾癬の治療. 第112回日本皮膚科学会総会 ランチョンセミナー, 2013, 横浜.
- 4 野見山朋子. 円形脱毛症の治療-ステロイド剤を中心に-. 第112回日本皮膚科学会総会, 2013, 横浜.
- 5 加藤則人. Enjoy Dermatology! 疾患の成り立ちを考え納得のいく診療を心がける. 第19回皮膚科感染症夏期セミナー, 2013, 洲本.
- 6 加藤則人. アトピー性皮膚炎の生活指導と治療に生かしたい最近の知見. 第37回日本小児皮膚科学会 イブニングセミナー, 2013, 東京.
- 7 加藤則人. シクロスポリンから生物学的製剤への切り替えの際の問題点と解決法. 第28回日本乾癬学会 ランチョンセミナー, 2013, 東京.
- 8 加藤則人. アトピー性皮膚炎-治療のゴールとゴールへのロードマップ-. 第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会 ランチョンセミナー, 2013, さいたま.
- 9 加藤則人. アレルギー性皮膚疾患の治療 Update. 第65回日本皮膚科学会

西部支部学術大会 ランチョンセミナー, 2013, 鹿児島.

- 10 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎のアドヒアランスを高める. 第43回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 イブニングセミナー, 2013, 金沢.
- 11 竹中秀也. 有棘細胞癌における医療の質を測る指標と診療のポイントについて. 第64回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2013, 名古屋.
- 12 益田浩司. 突発性蕁麻疹の Quality Indicator と診療のポイント. 第64回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2013, 名古屋.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Katoh N, Nakahara M, Saeki H, Hagiwara A, Mizutani H, Furue M. Visual analogue scale: evaluation of the instrument for the assessment of pruritus in Japanese patients. Harmonizing Outcome of Measures for Eczema III. 2013 Apr 7; San Diego, USA.
- 2 益田浩司. 周術期の蕁麻疹・アナフィラキシー. 第25回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2013, 横浜.
- 3 加藤則人. 若い皮膚科医への指導医の思い. 第112回日本皮膚科学会総会. 皮膚科の女性医師を考える会企画セミナー, 2013, 横浜.
- 4 加藤則人. アトピー性皮膚炎に関する最新の情報. 第64回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2013, 名古屋.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎ー小児から成人までー. 第63回日本アレルギー学会秋期学術大会. イブニングシンポジウム, 2013, 東京.
- 6 加藤則人. 心身医学的な診療スキル. シンポジウム アトピー性皮膚炎と心身医療. 第63回日本アレルギー学会秋期学術大会, 2013, 東京.
- 7 益田浩司. 今日のアトピー性皮膚炎治療をめぐる諸問題 1. 大学病院の立場から. 第43回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 2014, 金沢.

III) 国際学会における一般講演

- 1 Nomiyama T, Tamagawa-Mineoka R, Asai J, Masuda K, Takenaka H, Katoh N. Localization of mucin in human skin and hair follicles. 7th World Congress for Hair Research. 2013 May4-6; Edinburgh, Scotland.
- 2 ○Asai J, Hirakawa S, Sakabe J, Takenaka H, Nakamura N, Urano T, Tokura Y, Katoh N. Podoplanin enhances migration of keratinocytes by

- downregulation of E-cadherin. International Investigative Dermatology 2013. 2013 May 8-11; Edinburgh, Scotland.
- 3 Wada M, Horinaka M, Sakai T, Masuzawa M, Katoh N. Targetin P13K/mTOR signaling in cutaneous angiosarcoma. International Investigative Dermatology 2013. 2013 May 8-11; Edinburgh, Scotland.
 - 4 Daito J, Harada Y, Tamagawa-Mineoka R, Dai P, Takamatsu T, Katoh N. Analysis on spatio-temporal distribution of platelets in cutaneous inflamed sites of mouse contact dermatitis. International Investigative Dermatology 2013. 2013 May 8-11; Edinburgh, Scotland.
 - 5 ○ Tamagawa-Mineoka R. Platelets contribute to leukocyte recruitment to skin using distinct sets of adhesion molecules in contact hypersensitivity. Asian Society for Pigment Cell Research and the Australasian Society for Dermatology Research Conference 2013. 2013 May 17-19; Sydney, Australia.
 - 6 Masuda K, Yamamoto Y, Mineoka R, Katoh N. The relationship between allergen-specific IgE and IgG4 antibodies in patients with wheat allergy induced by hydrolyzed wheat protein. 9th Asian Dermatological Congress. 2013 Jul 10-13; Hong Kong, China.
 - 7 Nakai N, Katoh N. In vitro and in vivo evaluation of the antitumor effect of herbal medicine Ninjin-to in mouse melanoma. 9th Asian Dermatological Congress. 2013 Jul 10-13; Hong Kong, China.

(E) 研究助成（競争的研究助成金）

総額

公的助成

代表（総額）・小計 800 万 7,693 円

- 1 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 24～26 年度
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明
助成金額 110 万円
- 2 地域関連課題等研究支援費 平成 25 年度
京都府南部の山間部における小中学生のアトピー性皮膚炎の発症・寛解とその

背景因子に関する研究 100 万円

3 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B) 平成 24～25 年度
データベース化を目指したヒトメラノーマ特異的 RNA 干渉分子療法の開発 助成金額 100 万円

4 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 25～27 年度
皮膚表皮細胞におけるポドプラニンの機能解析 助成金額 140 万円

5 科学技術振興機構 (A-STEP) 平成 25 年度
光イメージングを用いた新たな皮膚悪性腫瘍に対する in situ 診断法の開発 助成金額 130 万 7,693 円

6 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 24～26 年度
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発 助成金額 120 万円

7 科学技術振興機構 (A-STEP) (研究代表者) 平成 24～25 年度
血小板の機能抑制によるアトピー性皮膚炎のプロアクティブ治療外用剤の開発 助成金額 100 万円

財団等からの助成

代表 (総額)・小計 100 万円

1 2012 年日本研究皮膚科学会フェローシップ資生堂賞
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発 助成金額 100 万円

業績目録（平成26年）

教室・部門名 皮膚科学教室

(A-b) 和文著書

- 1 加藤則人. 「アトピー性皮膚炎」、「自家感作性皮膚炎」. 今日の臨床サポート. 宮地良樹監修. エルゼビア・ジャパン, 東京: 2014. (<http://clinicalsup.jp/jpoc/>)
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎. 診療ガイドライン Up-To-Date 2014-2015. 門脇 孝, 小室一成, 宮地良樹監修. メディカルレビュー社, 東京: pp606-611, 2014.
- 3 加藤則人. 湿疹皮膚炎群 アドヒアランス不良アトピー性皮膚炎 (AD) 治療の決め手: 標準治療を遵守しない AD 患者の解決法は? 苦手な外来皮膚疾患 100 の解決法~そのとき達人はどのように苦手皮膚疾患を克服したか? ~. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京: pp38-39, 2014.
- 4 加藤則人. 湿疹皮膚炎群 アトピックドライスキン治療の決め手: アトピックドライスキンの解決法は? 苦手な外来皮膚疾患 100 の解決法~そのとき達人はどのように苦手皮膚疾患を克服したか? ~. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京: pp40-41, 2014.
- 5 加藤則人, 浅井 純. 整形外科医が知っておくべき皮膚科疾患. 整形外科医が知っておくべき境界領域のポイント. 久保俊一編. 診断と治療社, 東京: pp1-26, 2014.
- 6 加藤則人. アトピー性皮膚炎の原因は何でしょうか. エキスパートが答える! アトピー性皮膚炎 Q&A55. 加藤則人編. 診断と治療社, 東京: pp5-7, 2014.
- 7 加藤則人. ステロイドはどのような皮疹にいつまで塗るようにすればよいか教えてください. エキスパートが答える! アトピー性皮膚炎 Q&A55. 加藤則人編. 診断と治療社, 東京: pp27-29, 2014.
- 8 加藤則人. 成人アトピー性皮膚炎のステロイド外用薬のランクはどのような基準で決めるのですか. エキスパートが答える! アトピー性皮膚炎 Q&A55. 加藤則人編. 診断と治療社, 東京: pp30-31, 2014.
- 9 加藤則人. タクロリムス軟膏を始めるときの患者への説明のポイントを教

- えて下さい。エキスパートが答える！アトピー性皮膚炎 Q&A55. 加藤則人編. 診断と治療社, 東京 : pp35-36, 2014.
- 10 竹中秀也. 代謝異常症 47 眼瞼黄色腫治療の決め手. 苦手な外来皮膚疾患 100 の解決法～そのとき達人はどのように苦手皮膚疾患を克服したか?～. 宮地良樹編. メディカルレビュー社, 東京 : pp130-131, 2014.
- 11 竹中秀也. 汚染がひどい創はどうするの? まるわかり創傷治療のキホン. 宮地良樹編. 南山堂, 東京 : pp46-49, 2014.
- 12 中井章淳. Chapter 5 患者からよく質問され, 答えに難渋するもの Question 53 「アトピー性皮膚炎によくない食物について教えてください」と聞かれたら・・・. エクスパートが答える！アトピー性皮膚炎 Q&A 55. 加藤則人編. 診断と治療社, 東京 : pp142-143, 2014.

(B-b) 和文総説

- 1 加藤則人. 皮膚疾患の QOL 評価. 特集:初歩から学べる皮膚科検査の実際. MB Derma (増) 216 : 219-224, 2014.
- 2 加藤則人. アトピー性皮膚炎の生活指導に生かしたい最近の知見. 日小児皮会誌 33 : 19-22, 2014.
- 3 加藤則人. 診療に生かしたいアトピー性皮膚炎の最近の話題. 日臨皮医会誌 31 : 494-496, 2014.
- 4 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎の治療アドヒアランスを高めるために. 日皮アレルギー・接触皮膚炎学会誌 8 (3) : 143-146, 2014.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎のプロアクティブ療法. アレルギーの臨床 34 : 21-25, 2014.
- 6 加藤則人. 思春期～青年期のアトピー性皮膚炎 (1)「アトピー性皮膚炎とは」. 少年写真新聞 10 月号 : 4-5, 2014.
- 7 加藤則人. 思春期～青年期のアトピー性皮膚炎 (2)「アトピー性皮膚炎の治療」. 少年写真新聞 11 月号 : 4-5, 2014.
- 8 加藤則人. 思春期～青年期のアトピー性皮膚炎 (3)「アトピー性皮膚炎の生活指導」. 少年写真新聞 12 月号 : 4-5, 2014.
- 9 加藤則人. プロアクティブ療法. MB Derma 224 : 25-29, 2014.
- 10 加藤則人. アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2012-経過中の注意事項のポイントを中心に-. アレルギー63 (10) : 1312-1316, 2014.

- 11 加藤則人. アドヒアランスから考える外用薬の現状. -皮膚領域の外用療法を見直す-. *Progress in Medicine* 34 : 2095-2098, 2014.
- 12 加藤則人. アトピー性皮膚炎の心身医学的診療スキル. *臨免疫・アレルギー科* 61 : 633-637, 2014.
- 13 竹中秀也. 有棘細胞癌における医療の質を測る指標 (QI) と診療のポイントについて. *Visual Dermatology*13 (10) : 1131, 2014.
- 14 益田浩司. 周術期の蕁麻疹・アナフィラキシー. *アレルギー*63(5) :682-685, 2014.
- 15 益田浩司. 特発性蕁麻疹の QI と診療のポイント. *Visual Dermatology*13 (10) : 1169, 2014.
- 16 野見山朋子、加藤則人. 脱毛をきたした患者の生活指導. *MB Derma*225 : 37-445, 2014.

(C-a) 英文原著

- 1 Nakai N, Hagura A, Yamazato S, Katoh N. Mycosis fungoides Palmaris et plantaris successfully treated with radiotherapy: Case report and mini-review of the published work. *J Dermatol* 41(1): 63-67, 2014. (IF=2.252)
- 2 Nakai N, Ozawa A, Katoh N. Nodular primary localized cutaneous amyloidosis in a patient with pulmonary sarcoidosis. *Indian J Dermatol* 59(3): 307-308, 2014.
- 3 Nakai N, Katoh N. Maculopapular-type drug eruption caused by sitagliptin phosphate hydrate: a case report and mini-review of the published work. *Allergol Int* 63(3): 489-491, 2014. (IF=2.457)
- 4 ○Asai J, Harada Y, Beika M, Takenaka H, Katoh N, Takamatsu T. Photodynamic diagnosis of metastatic lymph nodes using 5-aminolevulinic acid in mouse squamous cell carcinoma. *J Dermatol Sci* 74(2): 171-173, 2014. (IF=3.419) (細胞分子機能病理学との共同)
- 5 Asai J, Ohyama M. Human papillomavirus and cutaneous squamous cell carcinoma: does ethnicity matter? *Br J Dermatol* 171(4): 689, 2014. (IF=4.275)
- 6 Tamagawa-Mineoka R, Okuzawa Y, Masuda K, Katoh N. Increased serum levels of interleukin 33 in patients with atopic dermatitis. *J Am*

- Acad Dermatol 70(5): 882-888, 2014. (IF=4.449)
- 7 ○Hagura A, Asai J, Maruyama K, Takenaka H, Kinoshita S, Katoh N. The VEGF-C/VEGFR3 signaling pathway contributes to resolving chronic skin inflammation by activating lymphatic vessel function. *J Dermatol Sci* 73: 135-141, 2014. (IF=3.419) (眼科学との共同)
 - 8 ○Nakamura N, Tamagawa-Mineoka R, Ueta M, Kinoshita S, Katoh N. Toll-Like Receptor 3 Increases Allergic and Irritant Contact Dermatitis. *J Invest Dermatol*, 2014.[Epub ahead of print] (IF=7.216) (眼科学との共同)
 - 9 ○Daito J, Harada Y, Dai P, Yamaoka Y, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N, Takamatsu T. Neutrophil Phagocytosis of Platelets in the Early Phase of 2,4,6-trinitro-1-chlorobenzene(TNCB)-induced Dermatitis in Mice. *Acta Histochem Cytochem* 47(2): 67-74, 2014. (IF=1.393) (細胞分子機能病理学との共同)
 - 10 Hotta E, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Delayed-type hypersensitivity to 6-methyl-prednisolone sodium succinate. *J Dermatol* 41(8): 754-755, 2014. (IF=2.252)
 - 11 Kan S, Konishi E, Arita T, Ikemoto C, Takenaka H, Yanagisawa A, Katoh N, Asai J. Podoplanin expression in cancer-associated fibroblasts predicts aggressive behavior in melanoma. *J Cutan Pathol* 41(7): 561-567, 2014. (IF=1.582)
 - 12 Wada M, Horinaka M, Yamazaki T, Katoh N, Sakai T. The dual RAF/MEK inhibitor CH5126766/RO5126766 may be a potential therapy for RAS-mutated tumor cells. *PLoS One* 9(11): e113217, 2014. (IF=3.234)
 - 13 Kanno S, Asai J, Nakamura N, Komori S, Iida S, Hanada K, Nomiyama T, Takenaka H, Katoh N. Myxofibrosarcoma arising from a chronic burn scar. *J Dermatol* [Epub ahead of print], 2014. (IF=2.252)
 - 14 Isohisa T, Masuda K, Nakai N, Takenaka H, Katoh N. Angiolymphoid hyperplasia with eosinophilia treated successfully with imiquimod. *Int J Dermatol* 53(1): e43-e44, 2014. (IF=1.312)
 - 15 Morimoto A, Asai J, Wakabayashi Y, Komori S, Hanada K, Takenaka H, Konishi E, Katoh N. Malignant melanoma with probable smooth muscle differentiation. *Case Rep Dermatol* 6(1): 16-9, 2014.

- 16 Morimoto A, Asai J, Wakabayashi Y, Tashima S, Wada M, Iida S, Komori S, Hanada K, Takenaka H, Katoh N. Lymph node metastasis of a malignant peripheral nerve sheath tumor without distant metastasis. *Indian J Dermatol* 59(6): 635, 2014.
- 17 Yokose C, Nakai N, Katoh N. Maculopapular-type drug eruption caused by Coughcode®-N combination tablets. *Allergol Int* 63: 489-491, 2014. (IF=2.457)
- 18 Ikemoto C, Tamagawa-Mineoka R, Masuda K, Iida S, Inomata N, Katoh N. Immediate-onset anaphylaxis of *Bacillus subtilis*-fermented soybeans (natto). *J Dermatol* 41(9): 857-858, 2014. (IF=2.252)
- 19 Kawai M, Tamagawa-Mineoka R, Hagura A, Masuda K, Katoh N. Allergic contact dermatitis due to carrots. *J Dermatol* 41(8): 753-754, 2014. (IF=2.252)
- 20 Yamazato S, Nakai N, Katoh N. A case of cutaneous squamous cell carcinoma arising in an actinic keratosis on the face in a centenarian woman successfully treated with surgery. *Indian J Dermatol* 59(3): 304-306, 2014.
- 21 Yamazato S, Nakai N, Katoh N. Multiple fungal infection in a patient on chronic low dose corticotherapy. *Indian J Dermatol* 59(6): 636, 2014.
- 22 Sawada T, Asai J, Nomiya T, Masuda K, Takenaka H, Katoh N. Trigeminal trophic syndrome: Report of a case and review of the published work. *J Dermatol* 41(6): 525-528, 2014. (IF=2.252)
- 23 Sawada T, Nakai N, Masuda K, Katoh N. Paraneoplastic dermatomyositis associated with gallbladder carcinoma: A case report and mini review of the published work. *Indian J Dermatol* 59(6): 615-616, 2014.
- 24 Ohshita A, Nakai N, Katoh N, Konishi K. Atypical case of juvenile spring eruption with photosensitivity to a single dose of ultraviolet A irradiation. *J Dermatol* 41(4): 356-357, 2014. (IF=2.252)
- 25 Ohshita A, Nakai N, Katoh N, Konishi K. Atypical case of juvenile spring eruption with photosensitivity to a single dose of ultraviolet A irradiation. *J Dermatol* 41(4): 356-357, 2014. (IF=2.252)
- 26 Arita T, Nomiya T, Asai J, Takenaka H, Fukuoka M, Katoh N.

Unusual presentation of relapsing neutrophilic dermatosis limited to the face. *J Dermatol* 41(7): 661-662, 2014. (IF=2.252)

- 27 Matsumoto Y, Horiike S, Maekawa S, Ioshisa T, Sakamoto N, Chinen Y, Nakayama R, Kiyota M, Nagoshi H, Mizutani S, Shimura Y, Sugitani M, Kobayashi T, Nakai N, Kuroda J, Taniwaki M. Rheumatoid arthritis/methotrexate-associated primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma, leg type. *Intern Med* 53(11): 1177-1181, 2014. (IF=0.904) (血液内科との共同)
- 28 Chalmers JR, Schmitt J, Apfelbacher C, Dohil M, Eichenfield LF, Simpson EL, Singh J, Spuls P, Borok N, Burton T, Chamlin SL, Deckert S, DeKlotz CC, Graff LB, Hanifin JM, Hebert AA, Humphreys R, Katoh N, Kisa RM, Margolis DJ, Merhand S, Minnillo R, Mizutani H, Nankervis H, Ohya Y, Rodgers P, Schram ME, Stalder JF, Takaoka R, Svensson A, Teper A, Tom WL, von Kobyletzki L, Weisshaar E, Zelt S, Williams HC. Report from the Third International Consensus Meeting to Harmonise Core Outcome Measures for Atopic Eczema/Dermatitis Clinical Trials(HOME). *Br J Dermatol* 171: 1318-1325, 2014. (IF=4.275)

(C-b) 和文原著

- 1 加藤則人. アトピー性皮膚炎の心身医学的な診療スキル-コミュニケーションスキルを中心に. *臨床免疫・アレルギー科* 61 (6) : 633-637, 2014.
- 2 飯田沙織, 竹中秀也, 宮下文, 藤井ちひろ, 細川洋平, 真鍋俊明. Wilson病患者に生じた蛇行性穿孔性弾力線維症. *皮膚病診療* 36 (3) : 227-230, 2014.
- 3 金久史尚, 中井章淳, 加藤則人. エタネルセプトによる乾癬様皮疹が疑われた例. *皮膚病診療* 36 (5) : 449-452, 2014.
- 4 森本 彩, 和田 誠, 田嶋佐妃, 浅井 純, 花田圭司, 竹中秀也, 加藤則人. 集学的治療により 3 年間再発を認めていない StageIVの Merkel 細胞癌の 1 例. *臨皮* 68 (1) : 51-55, 2014.
- 5 横瀬千美, 磯久太郎, 飯田沙織, 浅井 純, 野見山朋子, 竹中秀也, 加藤則人. 下腿に生じた慢性膿皮症の 1 例. *皮膚臨床* 56 (7) : 1063-1066, 2014.
- 6 大下彰史, 中井章淳, 服部佐代子, 尾藤三佳, 坂元花景, 小西啓介. 背部弾

性線維腫. 皮膚病診療 36 (6) : 507-510, 2014.

- 7 中川有夏, 田嶋佐妃, 浅井 純, 竹中秀也, 加藤則人, 山田 稔. ヒトクイバエによるハエ症の 1 例. 皮膚の科学 13 (6) : 415-420, 2014. (感染病態学との共同)

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 加藤則人. 診療に生かしたいアトピー性皮膚炎に関する最近の話題. 第 30 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会ランチョンセミナー, 2014, 横浜.
- 2 加藤則人. イントロダクション: アトピー性皮膚炎の治療の目標とゴール. 第 113 回日本皮膚科学会総会, 2014, 京都.
- 3 益田浩司. 蕁麻疹治療の達人技を学ぶ: 内服療法のポイント. 第 113 回日本皮膚科学会総会, 2014, 京都.
- 4 川上民裕, 浅井 純, 浅野善英, 石井貴之, 岩田洋平, 小寺雅也, 藤本 学. 皮膚科医が行うべき難治性皮膚潰瘍の対処法とは?—創傷・熱傷ガイドラインの改訂版の変更点についても言及—「皮膚科医が行うべき膠原病・血管炎の皮膚潰瘍の対処法とは?」. 第 113 回日本皮膚科学会総会, 2014, 京都.
- 5 加藤則人. アトピー性皮膚炎とスキンケア. 日本美容皮膚科学会, 2014, 浦和.
- 6 加藤則人. 乾癬の治療の歴史と進歩. 第 29 回日本乾癬学会, 2014, 高知.
- 7 加藤則人. 皮膚科医からみた乾癬性関節炎の診断と治療. 日本脊椎関節炎学会第 24 回学術集会スポンサードセミナー, 2014, 大阪.
- 8 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎の治療—親とこどもの心を動かすには. 第 78 回日本皮膚科学会東部支部学術大会モーニングセミナー, 2014, 青森.
- 9 加藤則人. 小児アトピー性皮膚炎のアドヒアランスを高めるために. 第 78 回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 2014, 青森.
- 10 加藤則人. スキンケアで経皮感作を予防できるか. 第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会ランチョンセミナー, 2014, 大阪.
- 11 竹中秀也. 試験に出るダーモスコピー. 第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 2014, 大阪.
- 12 加藤則人. アトピー性皮膚炎の母親とのコミュニケーションスキル. 第 51 回小児アレルギー学会, 2014, 四日市.

- 13 加藤則人. 皮膚アレルギーに関するいくつかのトピックス. 第44回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会ランチョンセミナー, 2014, 仙台.
- 14 加藤則人. 皮膚アレルギーに関するトピックス. 日本皮膚科学会第442回京滋地方会, 2014, 京都.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 浅井 純. 皮膚の科学からアンチエイジングを考える「リンパ管のサイエンスとアンチエイジング」. 第14回日本抗加齢医学会総会, 2014, 大阪.
- 2 峠岡理沙. 搔破により活性化するさまざまな免疫機構. 第77回日本皮膚科学会東京支部学術大会 シンポジウム 7 アトピー性皮膚炎-基礎研究の成果を診療に活かす-, 2014, 東京.

III) 国際学会における一般発表

- 1 Masuda K, Hotta E, Yamazaki A, Yamazato S, Ueda S, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Clinical and laboratory features of chronic urticaria. Annual meeting of American Academy of Allergy, Asthma and Immunology. 2014 Feb 28-Mar 4; San Diego, USA.
- 2 Katoh N. Updated diagnosis and management of atopic dermatitis in Japan. Atopic Dermatitis Conference. 2014 Mar 15; Chengdu, China.
- 3 Katoh N. Updated diagnosis and management of atopic dermatitis in Japan. Shanghai Atopic Dermatitis Conference. 2014 Mar 16; Shanghai, China.
- 4 Nomiya T, Arakawa Y, Wada M, Kan S, Hattori J, Okuzawa Y, Katoh N. Pulse corticosteroid therapy for severe alopecia areata of the first episode. 8th World Congress for hair research. 2014 May 14-17; Jeju, Korea.
- 5 Arakawa Y, Nomiya T, Katoh N. 308nm Exclmer Laser Therapy of Alopecia Universalls resistant to other treatments. 11th Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology. 2014 Jun 11-14; Heidelberg, Germany.
- 6 Asai J, Kan S, Konishi E, Arita T, Ikemoto C, Takenaka H, Yanagisawa A, Katoh N. Podoplanin expression in cancer-associated fibroblasts predicts poor prognosis in melanoma but not in non-melanoma skin

- cancer. 44th Annual ESDR meeting. 2014 Sep 10-13; Copenhagen, Denmark.
- 7 Masuda K, Tamagawa-Mineoka R, Katoh N. Utility of laboratory testing in management of chronic urticaria. 3rd Eastern Asia Dermatology Congress. 2014 Sep 24-26; Jeju, Korea.
- 8 ○Asai J, Harada Y, Beika M, Takenaka H, Katoh N, Takamatsu T. Detection of metastatic lymph nodes using 5-aminolevulinic acid in mouse squamous cell carcinoma. 3rd Eastern Asia Dermatology Congress. 2014 Sep 24-26; Jeju, Korea. (細胞分子機能病理学との共同)
- 9 ○Tamagawa-Mineoka R, Mizutani H, Yasuike R, Nakamura N, Katoh N. Important role of platelets in the induction of low zone tolerance to contact allergens. The 39th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology. 2014 Dec 12-14; Osaka, Japan.

(E) 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 710 万円

公的助成

代表 (総額)・小計 610 万円

- 8 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 24~26 年度
自然炎症がアトピー性皮膚炎の発症と慢性化に果たす役割の分子機構の解明
助成金額 110 万円
- 9 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 26~28 年度
データベース化を目指したヒトメラノーマ Mitf-M 特異的分子標的療法の開発
助成金額 220 万円
- 10 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 25~27 年度
皮膚表皮細胞におけるポドプラニンの機能解析 助成金額 120 万円
- 11 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 24~26 年度
血小板により誘導される炎症の制御機構の解明とそれに基づく新規治療法の開発 助成金額 90 万円
- 12 地域関連課題等研究支援費 平成 26 年度
京都府南部の山間部における皮膚の乾燥を防ぐ生活習慣の指導によるアレルギー
ーマーチの予防に関する検討 70 万円

分担・小計 100 万円

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等克服研究事業 平成 26 年度

アトピー性皮膚炎発症機序の解明と皮膚バリアケアによる予防法の開発に関する研究 助成金額 100 万円